

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

山形県 期日町

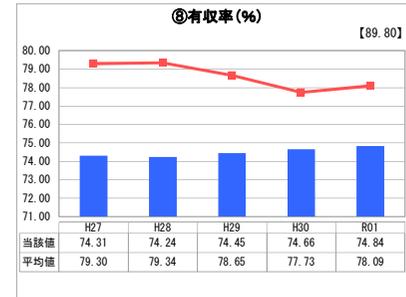
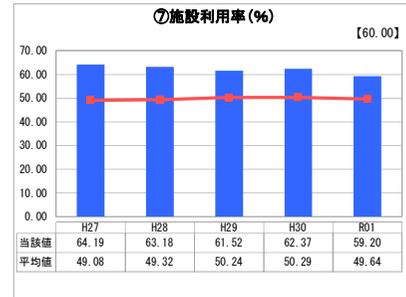
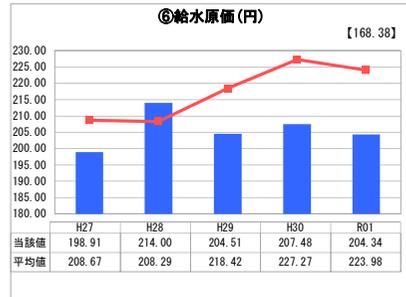
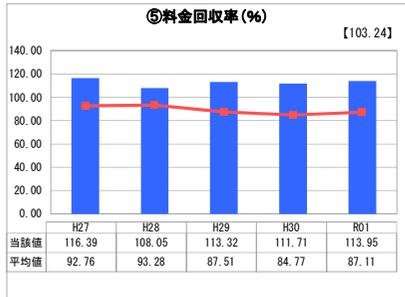
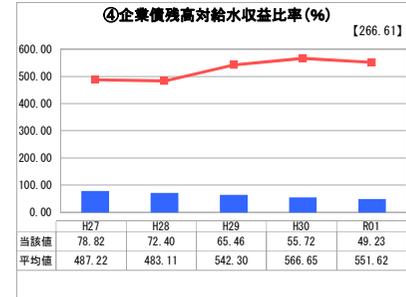
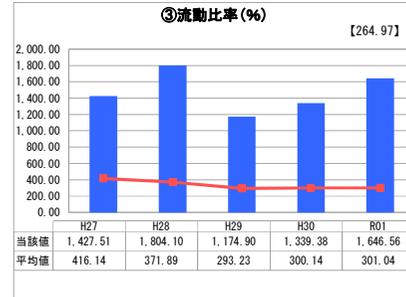
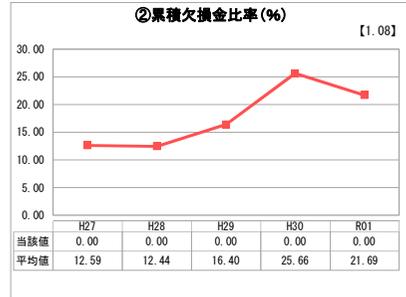
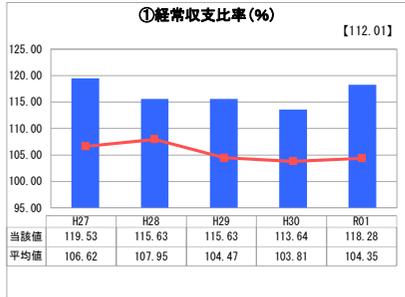
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)	
-	92.13	97.07	4,587	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,714	196.81	34.11
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,467	19.50	331.64

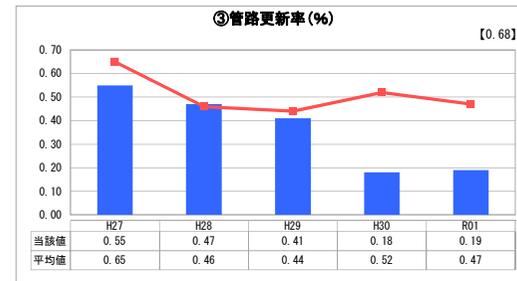
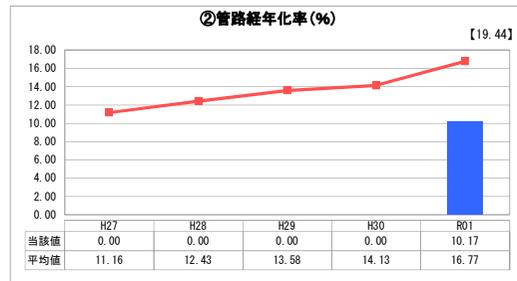
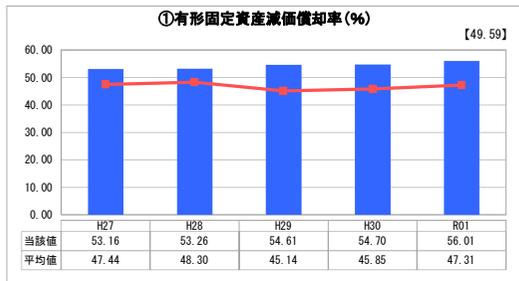
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常収支比率は100%を超えているものの、今後も引き続き健全経営に努めていく。
- ・企業債残高対給水収益比率については、新規の企業債発行を行っていないため減傾向にある。
- ・給水原価は、全国平均より高いので、今後も経費削減や業務の効率化、有収率の向上に努める必要がある。
- ・施設利用率は、全国・類似団体平均値とほぼ変わりのないので、適正な施設規模と考える。

### 2. 老朽化の状況について

- ・法定耐用年数に向けた資産を多く有するため、有形固定資産減価償却率が高い状況にあり、管路や施設などの更新を計画的に行っていく必要がある。

## 全体総括

- ・給水人口の減少に伴う給水収益の減が予想されるので、これまで以上に経費の削減、業務の効率化、有収率の向上に努め、健全経営を維持していく。
- ・平成30年度に策定した『経営戦略』に基づき、管路や施設を計画的に更新していく。